

平成30年度

第1回茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会会議録

議題	議題 (1) 協議会要綱について (2) 会長・副会長の選出について (3) 部会の設置について 報告 (1) これまでの経緯と前回協議会以降の取組について (2) 市民部会の取組について (3) 今後のスケジュール
日時	平成31年1月18日(金) 14:30~15:30
場所	茅ヶ崎市役所 本庁舎4階会議室1
出席者名	副会長：海津 ゆりえ 委員：橋 俊彦、大澤 武廣、菅 俊和、神永 裕一、橋口 真澄、山口 洋一郎、熊澤 克彦、関野 保、水島 修一、柏崎 周一、戸井田 愛子、瀧井 正子、五十嵐 優子、鈴木 実、牧野 浩子、杉山 徹、黒川 秀男、大野木 英夫 (欠席委員) 会長：斉藤 進 副会長：藤井 直人 会員：仲手川 仁志、佐藤 勝太、牧野 末次、上杉 桂子、瀬川 直人、浅川 晴美 (事務局) 都市部都市政策課
会議資料	資料1：茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会要綱 資料2：これまでの経緯と前回協議会以降の取組 資料3：市民部会の取組 資料4：今後のスケジュール 別紙1：平成29年度推進管理シート 別紙2：リーフレット(概要)(案)
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	1名

(会議の概要)

1. 開会

○後藤課長：定刻になりましたので、平成30年度第1回茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会を開催いたします。会議内容につきましては原則公開となっておりますが、傍聴の方は発言できないので、よろしくお願いいたします。

2. 委員の委嘱

○後藤課長：委嘱状を配付しており、本日平成31年1月18日より2年間、本協議会委員をお願いすることとなります。また、委員27名のうち19名の出席をいただいているため、茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会要綱第6条第2項の規定を充足しており、本日の会議は成立していることを報告いたします。

(議題について説明、資料の確認)

会長、副会長を選出するまでの間の座長を決めますが、特に異議がなければ、事務局に一任させていただきたいと思います。茅ヶ崎市社会福祉協議会の常任理事である水島委員に座長をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

○協議会委員：異議なし

○水島委員：会長、副会長が選任されるまでの間、皆さまのご協力をお願いします。

3. 議題

(1) 協議会要綱について

○宮崎副主査：資料1「茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会要綱」の説明。

○水島委員：今後はこの内容で進めていくということで異議はありませんか。

○協議会委員：異議なし

(2) 会長・副会長の選出について

○水島委員：次に、議題(2)について、要綱第5条第1項に定めたとおり、本協議会は委員の互選により会長及び副会長を定めることとなっております。委員の皆さまより推薦はありますか。

○柏崎委員：会長及び副会長の推薦をしたいと思います。互選ということなので、27名のうち、長い間本会議を精力的に引っ張ってこられた先生方、バリアフリーに非常に精通している斉藤先生を会長に、海津先生と藤井先生を副会長に推薦したいと思います。

○水島委員：会長に産業能率大学の斉藤委員、副会長に文教大学の海津委員、リハビリテーション工学者の藤井委員の推薦がありました。他になければ、挙手にて選任をお願いします。

○協議会委員：挙手

○水島委員：全会一致で会長に斉藤委員、副会長に海津委員及び藤井委員を選任したいと思います。

○後藤課長：会長と副会長が選任されましたが、本日は会長の斉藤委員が欠席のため、要綱第5条第3項に基づき、海津副会長に会長代理と進行をお願いします。

○海津副会長：第1回ということで荷が重いですが、スムーズな進行にご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

協議会を進めるにあたり、会議の記録として議事録を作成、公開することとなって

います。また、内容確認のために議事録署名人を指名させていただいています。協議会の長と、長が指名した委員が署名することとなっており、名簿の順番ということになっていますので、橋委員にお願いしたいと思います。異議はありませんか。

○協議会委員：異議なし

(3) 部会の設置について

○宮崎副主査：平成25年度から継続している協議会ですが、これまで「心のバリアフリー」に関する協議を行うために市民部会を設置してきました。事務局としては、引き続き市民部会を設置し、取組を進めていきたいと考えています。バリアフリーというと、エレベーターやエスカレーター、誘導ブロック等のハード整備が一般的だと思いますが、市民や店員等から障害をお持ちの方が心無い言葉を言われたり、不適切な対応をとられるということがあり、安心して過ごせていないという状況が発生しています。全国的に見ても、心のバリアフリーの推進は非常に重要視されていますが、効果的な取組は確立されていない状況にあります。本協議会でも、継続して取組を進める必要があると考えています。

また、ハード整備には費用や物理的な空間が必要であり、事業実施が容易に進まないという状況もあります。例えば、段差や誘導ブロックがない所など、障害に対しての理解を持つことで、バリアを解消することができるのではないかと考えています。

本日、協議会において部会設置の承認を得られましたら、後ほど、現在の取組について説明したいと考えています。

これまでの部会委員は、委員名簿のNo. 11からNo. 26までの方で構成しており、事務局としては引き続きこの委員の皆様と取組を進めていきたいと考えています。

○海津副会長：市民部会としては心のバリアフリーに取り組むということで、効果的な方策とハード整備等も含めて、引き続き議論していきたいという内容です。市民部会の設置について異議がなければ挙手をお願いします。

○協議会委員：挙手

4. 報告

(1) これまでの経緯と前回協議会以降の取組について

○宮崎副主査：茅ヶ崎市バリアフリー基本構想の概要、資料2「これまでの経緯と前回協議会以降の取組」及び別紙1「平成29年度推進管理シート」に沿って説明。

(意見・質問なし)

(2) 市民部会の取組について

○宮崎副主査：資料3「市民部会の取組」及び別紙2「リーフレット(概要)(案)」に沿って説明。

○海津副会長：リーフレットは概要版ということですが、本体はボリュームのあるものになるのでしょうか。

○宮崎副主査：全8ページのリーフレット作成を予定しています。

○鈴木委員：アンケートの中で、一般の方が障害者の方に声をかけようにも障害者かどうか分からない、という意見が出ていましたが、それに対して当事者側として、どういう形で知

らせたらいいのか検討していただければと思います。前回、ヘルプマークの話をしました。これを出すことにより逆にいじめられるという意見も出ていました。どういう形で助けを求めていることを知らせていけばよいのでしょうか。

○海津副会長：この意見に関連して、リーフレットの中ではこれに対応することが書かれるのでしょうか。

○宮崎副主査：今のところ解決策は見出せていませんが、具体的に困っている状況等をリーフレットに掲載したいと考えています。障害をお持ちの方をと見て分かるようにすることについては、市民部会において意見交換、議論をしていきたいと思っています。

○熊澤委員：鈴木委員より意見があったヘルプマークについては、茅ヶ崎市としても障害福祉課を中心に広報をしているところです。このヘルプマークは東京あたりで始まった取組ですが、全国的に広がりつつあるという状況です。茅ヶ崎市以外でも、それぞれの自治体が始めていると聞いています。ヘルプマークを付けていることによる偏見に関して、ヘルプマークとは別の部分で理解を深めていくという取組を、福祉部としても今後継続してやっていきたいと考えています。

○海津副会長：ヘルプマークは大分見かけるようになったと感じています。

○牧野委員：リーフレットはバリアフリーの啓発に使うという理解をしましたが、このリーフレットの点字版や音声版、知的障害者向けにふりがなを振った大きな字にしたものなどを作成する予定はあるのでしょうか。

○宮崎副主査：読み上げのための電子データは作成したいと思っています。ふりがなを振ったものの作成も進めていきたいと考えていますが、点字版に関しては、これまで事務局としては考えがなかったもので、可能であれば作っていききたいと思っています。ただし、点字版については、我々は知識や技術を有していないため、福祉部と連携してできるものなのか等、皆さんと相談しながらやっていきたいと考えています。

○牧野委員：せっかく作って啓発するものなので、バリアをなくして全ての人が見られるようなリーフレットを作成して欲しいと思うので、ご検討いただければと思います。

(3) 今後のスケジュール

○宮崎副主査：資料4「今後のスケジュール」に沿って説明。

5. その他

○宮崎副主査：第2回の協議会は平成31年3月25日の午後の開催を予定しています。議題としては、特定事業計画の進捗状況の確認、市民部会の取組の報告を予定しています。先ほど承認いただいた市民部会につきまして、引き続き開催いたします。

6. 閉会

会長署名 海津 ゆりえ _____

会員署名 橋 俊彦 _____